

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	121いきいきとした生涯学習の推進		
施策のねらい (めざす姿)	市民が生涯を通じて学習に取り組み、その成果を地域で活かし、生きがいをもって生活しています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	マネージャー氏名	柴田 康弘

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	図書館業務の民間委託の継続と学習センター等施設使用料の見直しを図る。	③改革・改善内容	受益者負担の原則に基づき、市全体の施設における使用料の見直しが必要である。
②①に基づく取り組み結果	平成25年4月1日より平成30年3月31日までの長期継続契約を締結した。使用料については、厳しい経済環境が長引いており、施設利用者にさらなる負担を求めることは困難な状況であると認識していることから、全庁的に使用料の見直しを延期している。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	生涯を通じて学習に取り組み、その成果を地域で活かして生きがいをもった生活をしている。
②施策の概要	図書館の民間委託を継続することにより運営コストを削減しつつ、市民ニーズの多様化・高度化に柔軟に対応した生涯学習機会を提供し、学習活動を支援する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	高齢化が進展する中で、自己実現を図る場所として、さらには社会参加への機会の場としての施設利用者が増加するとともに、市民の学習要求が多様化、高度化していくことが想定される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	図書館の民間委託を継続することにより運営コストを削減しつつ、高齢化社会の進展、市民活動の活性化、市民ニーズの多様化・高度化等に柔軟に対応した学習機会を提供し、学習活動を支援した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	生涯学習をしている市民割合	%	—	55.1	—	67.0
	ii	学習施設利用者数	人	317,111	311,964	291,611	385,000
	iii	図書館資料貸出数	冊	445,703	410,564	400,266	435,000
③基本事業成果指標	i	公共施設予約システムアクセス件数	件	30,819	30,259	32,058	28,000
	ii	学習センター登録サークル・団体数	団体	459	455	461	470
	iii	市主催講座参加者数	人	17,679	16,671	21,725	25,000
	iv	公民館まつり参加者数	人	6,901	11,970	10,277	8,000
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算			
事業費(千円)	262,639	534,094	(単位:円)	4,916	円	741,669	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化・長寿命化に基づく整備により、コストの増加は必至である。一方、市民一人ひとりがあるゆる機会に学習し、その成果を地域に活かして貢献することが、自身の豊かな人生を送ることとなることから、生涯学習の施策の重要性は増大していく。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	使用料については、厳しい経済環境が長引いており、施設利用者にさらなる負担を求めることは困難な状況であり、使用料の見直しを延期している。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑向上	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する事務事業	図書館蔵書・資料整備事業		
④上記方向性の説明	民間委託の継続などにより運営コストを削減しつつ、利用者の多様化・高度化する市民の学習要求に対応するための各種分野に及ぶ図書、視聴覚資料の充実が求められている。		